

私が18年間で身につけた力

〈自己紹介〉

○名前

石井雄平

○特技

サッカー

○趣味

アニメ観賞 ゲーム



〈私が18年間に身につけた力〉

***Butter*力**



〈説明〉

新たな環境でもすぐに溶け込んで
馴染むことができる力



〈身につけたときの具体的なエピソード〉

高校入学時、知っている人がいなかったが、色々な人とコミュニケーションをとってすぐに高校生活に慣れることができた。



〈力を身につける前と後の自分〉

○前の自分

ずっと一人かもしれない
上手くやっていけるか不安

○後の自分

頼れる人がいる
充実している 安心

〈その力を活かして社会にどのように貢献したいか〉

職場での環境にすぐに溶け込み、
成果を上げ、会社内・社会に貢献
したい。

〈テーマを探求して発見したこと〉

「案ずるより産むが易し」

意味 物事はあれこれ心配するより実行してみれば案外たやすいものだ。

〈テーマ〉
防災 24時間無人島サバイバル生活

〈内容〉
震災時を想定したような生活をするために山田町の無人島で自分たちで準備した物で24時間生活をした。



〈発見についての説明〉

無人島で生活する際、何もない状態からのスタートだったが、準備した物や島にあったものを活用したら意外と上手く行った。



案外やってみるとうまくいく

〈発見したときのエピソード〉

- 魚を釣ったけどそのままは食べれない
→なんとなくで捌いたら上手くいって美味しく食べれた
- 鍋を温めたり調理するコンロが一つしかない
→近くにあった石を積んでかまどを作り鍋を温めれた



〈高校卒業後の目標〉

総探で身につけた力で社会人を
楽しんでいきたい。



〈まとめ〉

高校生活で様々な力が身についた。そこで身につけた力によって充実した高校生活を送ることが出来た。

ご清聴ありがとうございました